

憲法守るたたかいを

県革新懇が総会 小林節氏迎え講演

静岡 岡

平和・民主・革新の日本をめざす静岡県の会は6日、静岡市駿河

区で総会と小林節・慶応大学名誉教授を迎えた記念講演を行い、160人が参加しました。

総会で北野庄次事務局長は、県革新懇が戦争法案阻止のため連日宣伝し、3778人分の署名を集め、2回の

総がかり行動など一点共闘のかけ橋となってきたと紹介。「共同ひるげ戦争法案を廃案にしよう 憲法壊す安倍政権を倒そう」のスピーチを今回初めて掲げて法案の成立を阻み憲法を守るたたかいに総力をあげると述べました。

このほか、浜岡原発（御前崎市）再稼働反対・原発ゼロ、辺野古新基地建設阻止などのたたかいの方針と、すべての自治体・行政区に革新懇をつくることをめざすことを提案し、採択されました。講演で小林氏は、憲法は権力者を縛るもので私たちが権力者に命令するものだと言った。

「安保法案で安倍政権がしようとしているのは、アメリカの2軍として世界で戦争をすること、明白な憲法違反。私たちは大変な無礼を受けた。その怒りを持続させなければならぬ。法案を阻止するために政権支持率を大きく下げさせよう」と力説しました。